

(4面から続く)

る一方で、大和市は1701人増、綾瀬市は204人増、海老名市は925人増、厚木市は209人増とこの2年間でそれぞれ自然増となつてい

ます。子育て世代の層が本市は減少しているのに、4市は増えていると言えます。

本市の小児医療助成は小学校6年生までですが、大和市、海老名市、厚木市は中学校3年生までです。

また、中学校給食は4市全てで実施しているのに、本市



教職員の職場環境改善について

池田 徳晴 議員 《ごま大志会》

先進34か国からなる国際的な機関が実施した国際教員指導環境調査によると、日本の教員の勤務時間は他国よりも群を抜いて長く、日本の教員の多忙さが世界一であることが確認されました。部活動の指導や事務作業など、授業以外に多くの時間を割かざるを得ない状態が伺えます。

は実施していません。このことから人口減少対策としては、子育て施策など住みやすい生活環境を整えることが大事だと考えますが、市長の見解を求めます。



シェイクアウト訓練の今後の展開は?

佐藤 弥斗 議員 《ごま大志会》

シェイクアウト訓練は、指定された日時に参加者がそれぞれの場所で自身の身を守るために一斉に行う統一行動訓

練です。本市では神奈川県初の取り組みとして平成25年1月23日に第1回目の訓練を市と市民との協働により実施し、

翌年以降も毎年同じ日時にシェイクアウト訓練を行っていただきます。

3回目となる今年は昼間人口の約50%に当たる5万2753人が参加し、全国的にも大変注目をされ、日本の代表的な事例として国連防災世界会議などの場でも発表をされています。

シェイクアウト訓練の今後の展開について伺います。

市民部長 シェイクアウト訓練の認知度、参画意識等が浸透してきたことから、今後は参加登録者数の増加を目指すのではなく、安否確認、避難訓練、避難所開設のための市民によるプラス1訓練の拡



農地の保全に市民農園の拡充を

安海 のぞみ 議員 《神奈川ネット》

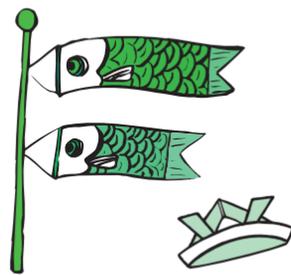
農業の土台は家族農業であり、国連も各国政府に小農への支持と投資を呼びかけています。しかし日本の政府はそれに逆行する施策に転じようとしています。本市の農地及び農業従事者を増やしていく取り組みをお示しください。

ます。農地保全でもある市民農園については、一部の区画面積を拡大したところ好評であり、今後も農園の位置や面積、期間の延長など利用者のニーズや意見を聞きながら検討していきたいと考えます。

環境経済部長 新規就農者は平成21年以降7名います。既存の農家後継者も対象となる国の青年就農給付制度を積極的に活用し、周知していきたい。新規に就農を希望したい方からの相談や、意欲ある農地中間管理機構の運用は大変難しく、農地の貸し借りは従前からの利用集積計画により進めていきたいと考えてい

【再質問】農地を市民グループが市民農園として直接借りることは可能でしょうか。

環境経済部長 基本的には農地法によりできませんが、地主さんにレクリエーション農園的な農園利用方式により開設してもらえば可能です。



充を図り、さらなる防災・減災意識の高揚が得られることを期待しています。

また、市職員に対する訓練として、災害時をイメージした職員参集訓練や被害想定に基づく関係機関との連携や対応など、プラス1訓練の質の向上につながるような企画を考えています。



市長給料、議員報酬の引き上げ その理由を明らかにせよ

沖永 明久 議員 《会派に所属しない議員》

市長は、就任以来2012年3月までは、給料を10%カット。2012年4月から2013年9月までは15%カット。2013年10月から2014年3月までは20%カットを行ってきました。

市長 就任以来、市の財政状況及び人事院勧告等を考慮して、期間を定めて減額してきました。昨年4月以降は、本来定められた額に戻させていただきました。

しかし、昨年4月以降は給料カットをやめ、条例上の月額89万3千円となつてい

常勤特別職の給料及び議員の報酬の額の改定につきましては、座間市特別職報酬等審議会へ諮問を行い、答申がなされた結果を尊重し、条例改正の議案を提出したものです。



カレスト座間地区再開発 イオンモールの開店時期は?

上沢 本尚 議員 《公明党》

カレスト座間地区への大型ショッピングセンター出店と周辺道路の混雑解消策について、先的一般質問では、市道38号線を有効に活用し、小松原交差点の二現示化にも地権者の理解を得ながら進めていくと答弁されています。

市長 イオンモールの出店時期については、本年の夏に工事着手、平成28年秋に開業予定と聞いています。映画館は、事業を見直す中で、つきみ野の映画館との関係で判断されると伺っています。

都市部長 小松原交差点を改良し、周辺の信号と現示を連動させることで交通渋滞の緩和を図り、通過車両等の生活道路流入については路面表示や案内看板等を増設し誘導する等、道路交通管理者と協議を行っているところ

す。同地区の再開発事業について、現状と今後のスケジュール、また周辺道路の渋滞緩和策の進捗について伺います。

陳情の結果

3月定例会の各常任委員会で審査した陳情は、次のとおり決まりました。

◎ 不採択

陳情第34号 地球社会建設決議に関する陳情

◎ 継続審査

陳情第22号 子宮頸がん検診対策の充実を促進し、HPV予防ワクチンを接種した子供たちへの調査を求める陳情

陳情第23号 子宮頸がんワクチン事業の一時中止を求め、早急な調査を開始する意見書を国に提出することを要望する陳情

請願・陳情の提出について

請願・陳情はいつでも受け付けています。3月、6月、9月、12月の年4回開催される定例会において審査されます。

なお、定例会ごとの締め切り日については、議会事務局にお問い合わせください。

☎046(252)8872

